

「使用上の注意」改訂のお知らせ

プロトンポンプ・インヒビター

処方箋医薬品^{注)}

オメプラゾールナトリウム注射剤

オメプラゾール注射用 20mg 「日医工」

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社
富 山 市 総 曲 輪 1 丁 目 6 番 21

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

この度、上記製品において、「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

＜改訂内容＞（ ：自主改訂による削除箇所）

改訂後			改訂前																																																								
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者 2.2 リルピビリン塩酸塩を投与中の患者 [10.1 参照]			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者 2.2 <u>アタザナビル硫酸塩、リルピビリン塩酸塩を投与中の患者</u> [10.1 参照]																																																								
10. 相互作用 省略（変更なし） 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td colspan="3">削除→</td></tr><tr><td>リルピビリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]</td><td colspan="2">省略（変更なし）</td></tr></table> 10.2 併用注意（併用に注意すること） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td colspan="3">省略（変更なし）</td></tr><tr><td>ボリコナゾール</td><td colspan="2">省略（変更なし）</td></tr><tr><td colspan="3">削除→</td></tr><tr><td>クロピドグレル硫酸塩</td><td colspan="2">省略（変更なし）</td></tr><tr><td colspan="3">省略（変更なし）</td></tr></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	削除→			リルピビリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	省略（変更なし）		薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略（変更なし）			ボリコナゾール	省略（変更なし）		削除→			クロピドグレル硫酸塩	省略（変更なし）		省略（変更なし）			10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td><u>アタザナビル硫酸塩（レイアタツ）</u> [2.2 参照]</td><td><u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u></td><td>本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。</td></tr><tr><td>リルピビリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]</td><td colspan="2">省略</td></tr></table> 10.2 併用注意（併用に注意すること） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td colspan="3">省略</td></tr><tr><td>ボリコナゾール</td><td colspan="2">省略</td></tr><tr><td><u>ネルフィナビルメシル酸塩</u></td><td><u>ネルフィナビルの作用を減弱することがある。</u></td><td>相互作用の機序は不明である。 <u>ネルフィナビルの血中濃度が低下することがある。</u></td></tr><tr><td>クロピドグレル硫酸塩</td><td colspan="2">省略</td></tr><tr><td colspan="3">省略</td></tr></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>アタザナビル硫酸塩（レイアタツ）</u> [2.2 参照]	<u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u>	本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。	リルピビリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	省略		薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	省略			ボリコナゾール	省略		<u>ネルフィナビルメシル酸塩</u>	<u>ネルフィナビルの作用を減弱することがある。</u>	相互作用の機序は不明である。 <u>ネルフィナビルの血中濃度が低下することがある。</u>	クロピドグレル硫酸塩	省略		省略		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																									
削除→																																																											
リルピビリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	省略（変更なし）																																																										
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																									
省略（変更なし）																																																											
ボリコナゾール	省略（変更なし）																																																										
削除→																																																											
クロピドグレル硫酸塩	省略（変更なし）																																																										
省略（変更なし）																																																											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																									
<u>アタザナビル硫酸塩（レイアタツ）</u> [2.2 参照]	<u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u>	本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。																																																									
リルピビリン塩酸塩（エジュラント） [2.2 参照]	省略																																																										
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																																									
省略																																																											
ボリコナゾール	省略																																																										
<u>ネルフィナビルメシル酸塩</u>	<u>ネルフィナビルの作用を減弱することがある。</u>	相互作用の機序は不明である。 <u>ネルフィナビルの血中濃度が低下することがある。</u>																																																									
クロピドグレル硫酸塩	省略																																																										
省略																																																											

<改訂理由>

- ・すでに販売中止・経過措置期間満了となっている「アタザナビル硫酸塩」を **2. 禁忌** 及び **10.1 併用禁忌** から、「ネルフィナビルメシル酸塩」を **10.2 併用注意** からそれぞれ削除しました。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ[®]」で下記 GS1 バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ[®]」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

オメプラゾール注射用「日医工」



今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.337」(2025 年 7 月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>)に掲載されます。